

数学科（数学Ⅰ）学習指導案							
年月日	令和4年6月15日（水）第2時限						
年次	1年次	組・講座	1組・B講座	教室	402教室	指導者	稲田 美咲
単元	第3章 2次関数			教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）		
単元の目標	1 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、2次関数を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 2次関数を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、2次関数の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 3 2次関数について、数学よさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			指導計画	1 関数とそのグラフ・・・2時間 2 2次関数のグラフ・・・3時間 3 2次関数の最大・最小・・・4時間（本時はその3時間目） 4 2次関数の決定・・・2時間		
	単元の評価規準	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の値の変化やグラフの特長について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 主体的に学習に取り組む姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ・事象を2次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 					
本時の指導							
主 題	2次関数の定義域と最大・最小						
前時の課題	前時で扱ったワークシートの問題を解いておく。						
本時の目標	1 グラフを利用して放物線の軸の位置と定義域の関係に着目し、定義域に制限のある2次関数の最大値と最小値を求めることができる。 2 解答の誤りを発見し、適切な解法で2次関数の最大値と最小値を求めることができる。						
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフを利用して定義域に制限のある2次関数の最大値と最小値を求めることができている。（知識・技能） ・解答の誤りを発見し、適切な解法で2次関数の最大値と最小値を求めることができている。（思考・判断・表現） 						
指導過程	学 習 活 動		時間	指導上の留意事項		資料、評価規準等	
	導 入	1 課題の確認を行う。 2 本時の目標を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の値の変化を読み取る際に、グラフを利用したことを確認させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・タブレット 	
	展 開	1 関数の定義域に制限のある場合の最大値と最小値を求める。 (1) $y = x^2$ ($-1 \leq x \leq 2$) (2) $y = -x^2$ ($1 \leq x \leq 2$) (3) $y = (x - 2)^2 - 3$ ($3 \leq x \leq 4$) 2 練習問題を解く。	15 25	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の定義域に制限のある場合と定義域が実数全体である場合との違いに着目させる。 ・軸の位置と定義域の関係について、グラフを利用して考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・誤った解答を正す活動を通して、グラフを利用して軸の位置と定義域の関係を読み取ることの大切さを理解させる。 		【評価方法】 ○机間指導、発表 （知識・技能）	
	整 理	1 本時のまとめを行う。 2 次時の予告を聞く。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに記入させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート 	
備考	生徒数 13名（習熟度別B講座）						